

# 商 況

販 賣 旬 報 第 21 號 昭 和 9 年 8 月 21 日

日本製鐵株式會社販賣部

## 9、10月積鐵力板賣出協議會—50錢上げ

月日場所 8月14日東京丸ノ内會館 出席者 四社、東西問屋及日鐵 議事 9、10月積市場向鐵力板賣出に關する件 海外の狀勢はシンデケートの結束により急騰を告げ先月健値とは甚だしく懸絶し居るも内地事情に就ては東西甚だしく状態を異にし東京の意見としては現在市場は不勢なるも健値の懸絶は不自然なるのみならず、目光需要期を控へ居る際なるを以て50錢程度の値上げ希望なるに對し、大阪はシンデケートの値段に一沫の不信頼を有するのみならず爲替の急騰に不安を誘ふ上市場ストックは年内の需要を充し得る程多量を擁するを以て今月だけは据置きとされたしと遂に一致したる意見の提出は無かつた。

兩者の意見を綜合するに大阪は東京と事情甚だしく異なりて大阪はWWが主力となり①一級は僅少なる範圍の市場を有するに過ぎざるを以て大阪のアンバランスを是正する意味より此際當社は數量を1,000噸に減じ東京を70%、大阪30%に決定しては提案したるに對し大阪は面目上もあれば相當數量を買取るとの事であつた然し斯る時に面目の如き事よりも實情に即するが至當なるべしとの意見なりしも結局賣出數量を1,000噸とし、大體原則として大阪40%、東京60%と定めて四社に委し特別事情は考慮することとした。

値段は50錢上げの次記に決定した。

100lbs 28圓20錢(50錢上げ) 200lbs 29圓95錢(同)  
尙提出された次記の買手の要望

### 買手提案

1 ①の數量増加したる事故從來相當大量輸入され居る  
20"×28"×112sh の 190, 180, 165, 160lbs 及び 224lbs の  
20"×28"×50sh, 23"×28"×60sh, 同 7sh, 同 80sh, 同 9sh,  
同 100sh 等も製作願たし。

2 一級二級の撰別を嚴重にし品質の向上を圖られたし

3 Grain の方向を一定にされたし 以上

に對しては

- (1) の薄物に對しては當分考慮せざるも厚物に就ては研究すべし
- (2) の一級二級の撰別は充分注意すべし
- (3) Grain の方向に就ては工場に就き研究すべし

### Quotation of Tin Plate for sept/oct. Shipment

	American		German	
	170#	200#	170#	200#
Cif. Price	\$ 8.89	\$ 9.25	£ 1.16.6	£ 1.18.1
Exch. 3/4 Cor 1/2 3/4	¥ 29.91	¥ 30.71	¥ 30.87	¥ 32.21
Int. 1.3%	.30	.31	.40	.42
Duty	1.21	1.44	1.21	1.44
Charge	.08	.10	.08	.10
	¥ 31.10	¥ 32.56	¥ 32.56	¥ 34.17

  

	British		German	
	170#	200#	165#	190#
Cif. price	£ 1.17.4	£ 1.19.6	£ 1.16.3	£ 1.17.6
Exch. 1/2 3/4	¥ 31.58	¥ 33.40	¥ 30.66	¥ 31.72
Int. 1.3%	.41	.43	.39	.41
Duty	1.21	1.44	1.19	1.37
Charge	.08	.10	0.8	.10
	¥ 33.28	¥ 35.37	¥ 32.32	¥ 33.60

## 9、10月・10、11月積石油罐用鐵力板賣出協議會

月日場所 8月14日東京丸ノ内會館 出席者 四社、日本石油及日鐵 議事 9、10月・10、11月積石油罐用鐵力板賣出に關する件

1、協議會に就いて 今迄此石油罐用鐵力板は賣出數量も僅少にて向先に限定されて居た關係上特別な協議會を開かず一般市場品の健値との格差によつて販賣されて居たが、當社の増産に伴ひ向先數量共に増加して來たので今月から市場向同様に協議會による事とした。

協議會に關する決定事項 1、幹事は當分三井物産 2、外注値段は協議會の都度四社各個にて打電すること 3、石油罐用の一部は小需家向として定期以外に若干は賣出すも之は決して市場向の思惑品にあらずして雜油の實需を本位とするものなるを以て其趣旨に反せざる様すること 4、協議會は實用向と云ふ性質上毎月開催する意味が甚だ減殺せらるゝ故 3ヶ月に1回に行ひてはと云ふ提案もあつたが、餘り長期に亘つて市場を開却することも一考を要するを以て不取敢定例として2ヶ月に1回開催することとし特別の事情突發の際は臨時に開催することにした。

2、値段 外注に就ては區々なるも市場向と同様の事情により今月は奔騰の狀勢にあることは勿論にて、最低を探りても外注値段は

天地 銅板 天地 銅板

7月 21,94圓 15,86圓 8月 25,81圓 18,70圓(英、米、オ)  
となり居るが、理論的に云へば殆んど外注値段に近き値段にて決定すべき性質のものなるも餘りに飛躍的値段にてもあり、又此製品が全然實需向の製品なることも顧慮し又第1回の賣出の事にてはあれは今回に限り特に次の通り決定した。

天地板 24圓 銅板 17圓50錢

3、積出に就て 製品の性質上積遅れを全然許さざるを以て其點特に注意されたしと云ふ買手提案があつた。

4、二級品に就て 新工場製品たる關係上漸次緩和され居るも現状としては二級品の發生比較的の多量なる故當分の間二級品5割内外混入のことゝ承知ありたし但し日石向は二級品は成るべく3割混入に留むること。

### Oil size coke Tin plates quotation for Sept. ship't

(American, British option)

	Cif.	Exch 30-3/4	Insurance	duty	Int.	Charg s	
天	\$ 7.35	24.34	0.15	1.11	0.17	0.04	25.81
胴	\$ 5.33	17.65	0.13	0.78	0.11	0.03	18.70

## 9、10月積六軌會賣出協議會—据置

月日場所 8月17日東京日本工業俱樂部 出席者 日本レール、日鐵 議事 9、10月積輕軌條賣出に關する件 輕軌條は他の鋼材と其性質を異にして直接需要筋を對稱とするを以て、價格の起伏は至つて平凡にて現在にても、何等樂悲の材料なきを以て前回据置きとし數量も6,000噸を賣出されたしと云ふ買手希望があつた。

當社も特に之を動かす理由も見出せざる現状なるを以て一般賣出は次記の通り据置きとなつた。

10. 哩未満 115圓(据置) 10 哩以上 113圓(同)

數量も買手希望通り2ヶ月に6,000噸の賣出しとなつた。

## 9、10月積線材共販賣出理事會—内地3圓上げ、輸出据置

月日場所 8月16日東京丸ノ内會館 出席者 神戸、日鐵及五社

議事 9、10月積線材賣出に關する件

1、買手希望 先月の線材賣出し以來神戸の故障日鋸の修繕等に原因する入荷薄と高値期待により一時は116、7圓見當まで上伸したるも協議會前に至り常例通り緩和され現在112圓搦みと下押したるも一方外注値段を参照する時は當然値上げの必要あるも、今回の硬化が需要の勃興よりも供給の不足にあるを以て其處に一沫の不安無きにしめならず、依つて是等を綜合し今月は内地向は3圓上げとし輸出向は輸入値段を考慮して据置きとされたく、數量は原料不足の際にてもあれば成るべく多量賣出され度しと云ふ買手希望があつた

2、理事會 買手希望を容れ値段は次記に決定した。

内地向 106圓(3圓上げ) 輸出向 93圓(据置)

數量は兩社共工場の故障修理も完了したる關係もあり旁々買手希望にも添ふ爲め若干増加して次の賣出しとなつた。

	内地	輸出	計
日 鐵	1,700 噸	800 噸	2,500 噸
神 戶	4,300 噸	2,200 噸	6,500 噸
計	6,000 噸	3,000 噸	9,000 噸

3、神戸製鋼製品の格差撤廢 今迄神戸製鋼製品は日鐵製品に對し50錢の格差ありたるも今月より此格差を撤廢し兩社共同値賣出となつた。

4、申込は省略して共販より直ちに割當てることとした。

Quotation of Wire Rods

Cif Price	Exch	Int.	Charges	95-15	Per 1kt	in bond	duty	115-32
£ 5-10-0	¥ 93-04	1-21	0-90	93-65	21-67			

東西市況一高値維持

最近市場には一昨年の狂騰當時に彷彿たる商狀ありとして一段と強氣に構へる向と今日の市況は秋高相場が折柄の供給難と相俟つて一日早く到來したわけであるし旁々當然外注の影響もあるので9月を絶頂としてそろそろ退路を測定してある筋とがある。

今日各店相場は出すやうなものと同種、同寸法に就て大、小の相異の有るのは何れも充分利が乗つてゐるのにも依るのであらうが頭書の傾向を映してゐると見られてゐる。

尙復多少かくし込んでゐると云はれてゐるが現在では事實在庫は尠いのであるし鋼材全般を通じて需要も相當に有るので總じて高値は唱へられてゐるが此處へ來て市況に何となく生彩を缺き特別なる物を除いては伸力も鈍いのは確に市場に氣迷があり硬軟區々の岐路であるからではあるまいかと云はれてゐる。

軍需 + 一般的需要對外注 + 内地供給量が如何なる波亂を巻き起すか、來勤となり9月中は大局は軟化無しと云へるであらうが誰かよく其の後の事を斷言する事が出来るであらう、目光高値維持、先行不明、市場に氣迷現はる。\*とでも逃避してをくのが無難であると云はれてゐる。

販賣旬報 第20號 昭和9年8月13日

日本製鐵株式會社販賣部

販賣部の移轉と電話番號の變更

大正15年以來製鐵所販賣部であり、引き続き當社の販賣部であつた、木挽町の事務所も8月6日次記郵船ビルの本社に移轉した。

東京市麹町區丸ノ内2丁目20番地1 郵船ビルディング六階 猶電話番號も次記の通り變更された。丸ノ内(23)1341-1349番

三軌會

月日場所 8月3日 東京丸の内會館 出席者 三井、三菱及日鐵 議事 重軌條賣出に關する件 外注のIRMA 値段は別項の通り

175圓近くの高値を報じ、當社の建値と益々懸絶し來りたるを以て外注標準の方針を捨てざる限り當然値上げの餘地あるも軌條は他の鋼材と異り、特別の状態に置かれあるを以て、今回は是等の狀況を綜合し結局次の通り決定した。

一般賣重軌條(繼目板込) 140圓

外注値段

4th Aug, 1934 Tokyo

Heavy Rails and Splice Bars

(British Maker)

	Rail	Splice
Cif. Japan	£ 8-18-0	£ 12-18-0
Ex. @ 1/2-3/4	¥ 150-22	¥ 217-74
Int. 1%	1-50	2-18
Duty	21-71	21-71
Charges	80	80
Per 1,016 kgs.	¥ 174-23	¥ 242-43
Per 1,000 kgs.	¥ 171-49	¥ 238-61
Rail and Splice bar average	¥ 174-40	

10、11月積先物協議會-据置

月日場所 8月9日大阪平和俱樂部 出席者 四社、三都問屋及日鐵 議事

1、需給と外注 最近大型物の需要甚だ旺盛にて市場も在庫の枯涸を來し従つて市價の昂騰を持續し、實需筋にても迷憾を感じる状態となりつゝあるを以て之を數量的に緩和する意味より無統制の外注を恐れて四社と合議の上今回約4,000噸の輸入を敢行するに至りたるが各地値段の公正を期する爲め東西均一とせる點と日鐵品「2」に對し外注「1」の割合にて御買取り願ふ豫定故其點も御承知願度しと云ふ日鐵側の説明があつた。

2、値段と數量 値段は、外注値段は殆んど前月と變らず、内地市場は7月央より硬化を續け居るが今回御説明の通りの高値の外注ありたりとすれば買入値段の採算高は益々市價の昂騰を誘發する原因となれば日鐵の大型物値段に就ては考慮されたし。猶將來外注の際には直接責任を負ふ問屋にも相談されたしと云ふことであつたが結局値段は据置きの次記と決定した。

角 鋼 107圓(据置) 工 形 鋼 102圓(据置)  
平鋼(日鐵分野) 107圓(同) 溝形鋼(吋寸法) 114圓(同)  
大型山形鋼 107圓(同) 同 (耗寸法) 103圓(同)

數量は、總體の數量は前月より500噸増しの8,000噸とし溝形鋼耗寸法は前月500噸程度であつたが以前よりの約定殘も相當擁するを以て今月は200噸程度とすることゝ決定した。

3、從來重量の増減は1-5%のアローアンスであるが減量は從來1-5%以上のものは全部値引したるも、之は理論上不合理なる故將來に就ては次記の通り決定したしと云ふ日鐵側提案があつた。「日鐵製品目錄處理方に關しては今後1-5%を超過せる場合其の超過分に付値引することに變更のこと實施期は9月1日以降契約すべきものに適要す」

10、11月積先物協議會

區分	入電	河岸着値段	希望決定	備考
品 種	沖着	(爲替1/2-3/4)		
角鋼 ベース	£ 5-6-0	¥ 115-37	107	据 置
平鋼 (本所分野)	5-6-6	115-79	107	"
大型山形鋼	5-11-6	119-95	107	"
工 形 鋼	5-1-0	111-21	102	"
溝形鋼 (吋寸法)	5-11-0	119-53	114	"
" (耗寸法)	5-2-0	112-04	103	"
丸鋼 ベース	5-6-6	115-79	鋼板 2.3mm	£ 6-16-6 ¥ 147-60
" 9mm	6-2-6	129-11	" 1.6mm	6-19-6 150-10
中小型山形鋼	5-6-6	115-79	黑薄鋼板	
鋼板 6mm以上	6-11-0	136-18	線材 B.W.G.No.5	
" 4.5mm	6-12-0	137-02	錳力板 170lbs	1-17-4 33-35
" 3.2mm	6-15-0	139-51	" 100lbs	1-0-1 18-77

10、11 月積角、平定期賣出協議會一据置

月日場所 8月9日 大阪平和俱樂部 出席者 四社、定期團及日鐵  
議事 10、11 月積角平賣出に關する件

1、 値段 外注は先物協議會に於て見る如く、前月と殆んど變りなく市場は硬化の一途を辿りつゝあるも日鐵の御趣旨を推察して据置きとされたし。

日鐵は買手提案の日鐵の趣旨を推察すると云ふ意味は不明なるも買手の説明によれば市場の昂騰も大した程度にもあらざる趣致買手希望通り据置きとした。

2、 數量 當社は過般の水饑饉と夏季減産を考慮する時は著しく能力の減退を豫期せらるゝを以て先月より 1,000 噸減の次記に決定した。

小型 1,400 噸 中型 600 噸 計 2,000 噸

之に對し買手側より、積遅れの覺悟にて前月通りの賣出しをされたしと云ふ希望があつたが當社は御趣旨を體し考慮はして見るも一應承諾されたしと云ふことであつたが買手の熱望により小型 300 噸を増し次の通りを決定した。

小型 1,700 噸 中型 600 噸 計 2,300 噸

10、11 月積 9 耗、中丸賣出協議會一据置

月日場所 8月9日 大阪平和俱樂部 出席者 四社、定期團及日鐵  
議事 10、11 月積 9 耗丸鋼 丸鋼市況は先月末より繼轉して、東京 102 圓大阪 98 圓程度迄上伸したるも、之は一に品不足に基因するものなれば精々數量を賣出され、値段は据置きとされたしと云ふ希望に對し賣手は例の夏季減産もあり旁不況の際の輸出も利きたるを以て賣出數量は甚だしく減少して 3,000 噸程度とされたしと云ふことであつたが買手の増額希望もあり、結局値段は据置きの次記とした。

9 耗 90 圓 (据置)

數量は 東京 1,400 噸 大阪 1,750 噸 名古屋 350 噸 計 3,500 噸

2、 中丸 市況不相變硬調を續け、相當の値鞘を保持し買氣益々旺盛にして二級品でさへ 123 圓を唱へ居る狀況なるを以て 10 圓上げの 128 圓とせられたしと云ふ希望であつたが、當社としては賣出數量を増加し得ざるを以て今回は値段は特に据置きとし數量は前月通りの次記とした。

値段 中丸 108 圓 (据置)

數量 1,000 噸

10、11 月積小型山形鋼賣出協議會一据置

月日場所 8月10日 六甲山ホテル 出席者 四社及日鐵  
議事 10、11 月積小型山形鋼賣出に關する件

1、 値段と數量 外注値段は全く變らず、内地市場は他鋼材の上伸に刺戟されたのと、賣行關係で漸騰歩調となり、外注と照合して

Small Size Equal Angles Quotation

Tokio. Aug. 8th. 1934.

Specification	Hamburg Exch. tel. Aug. 7th 1934		Aug 8th, 1934 Market Price		Oct./Nov. Shipment
	Aug. 7th 1934	1/2-3/16	Tokio	Osaka	
1/8" x 3/8" (3x20)	£6-11-0	¥136-31	¥125-00	¥120-00	@ ¥112
1/8" x 1" (3x25)	6-1-3	128-19	125-00	118-00	@ ¥104
" x 1 1/4" (3x30)	5-16-3	124-03	125-00	118-00	
" x 1 1/2" (3x40)	6-6-3	132-35	130-00	118-00	
3/16" x 1 1/4" (5x30)	5-16-3	124-03	108-00	110-00	@ ¥99
3/16" x 1 1/2" (5x40)	5-16-3	124-03	108-00	113-00	
" x 1 3/4" (4x45)	5-11-6	120-06	130-00	125-00	
1/4" x 1 1/2" ( - )	5-16-3	124-03	108-00	108-00	@ ¥99
" x 1 3/4" (6x45)	5-11-6	120-06	110-00	110-00	

相當値上げの餘地はあるも、穩健なる態度にて進む爲め 2 圓上げとされたしとの買手希望に基き次記の通り決定した。

A 112 圓(2圓上げ) B 104 圓(同) C 99 圓(同)

數量は買手側よりは今日の市場狀勢より増額の希望ありたるが之は申込を見たる上決定のこととした。

2、 締切 8月15日

10、11 月積中型山形鋼共販理事會一据置

月日場所 8月10日 六甲山ホテル 出席者 五社定期團、鋼管、東海、神戸、日滿

議事 10、11 月積中形山形鋼賣出に關する件

1、 値段 外注相場は殆んど先月と同様に共販建値とは 16 圓程度の値鞘を有し、一方内地市場は品薄の爲め硬化して 120 圓見當を唱へて先行も好望を傳へらるゝを以て是等の關係を綜合する時は 5 圓程度の値上げは妥當と考へらるゝも、急激なる値上げは此際市場を刺戟する故漸進の意味より今は 2 圓上げとされたしとの買手希望により次記の通り決定した。

等邊 102 圓 (2 圓上げ) 不等邊 103 圓 (同)

2、 數量 消化力旺盛なる今日の狀勢及び在庫狀態より考察して數量増加の買手希望ありたるも共販側としては工場關係もあれば前月通りと決定した。

猶臨時賣と四社直接の實需家向に就て定期團より之が中止方の希望ありたるが之に對し共販としては諸種の關係により絶對的に禁止するとは云ひ得ざるも定期團の希望には成るべく添ふ様努力すべしと云ふ回答があつた。

3、 締切 8月15日

Quotation for Medium Angles

(Oct./Nov. Shipment) 10th Aug. 1934.

Curent	Cif	Ex. @ 1/2-3/16	duty	Charge	Per It	Per kt
Month	£5-6-6	¥90-07	25-06	2-50	117-63	115-77

10、11 月積中板共販賣出理事會一据置

月日場所 8月10日 六甲山ホテル 出席者 東海、日鐵及四社  
議事 10、11 月積中板賣出に關する件

1、 値段 中板は常に市場の花形として活躍し過去に於て外注により之を緩和したることありたるも最近に到り遂に再び外注によるの已むを得ざるに到りたるを以て四社にては今回 2,000 噸の外注をなした。

斯る狀態なるを以て市中は勿論高値を維持し外注値段も概觀して大なる變化なく値上げの可能性は充分あるも前記外注物の關係もあれば値段は据置きの次記とし

1、 6mm 142 圓 (据置) 2、 3mm 137 圓 (据置)  
3、 2mm 132 圓 (〃) 4、 5mm 124 圓 (〃)

數量は共販より大體 3,000 噸賣出すこととした。

2、 締切 8月17日

Chuita Oct./Nov. Shipment

8th Aug. 1934

		Kibo	Kettei
16mm	6-17-6	149-84	142-00
23	6-16-6	147-35	137-00
82	6-13-6	138-02	132-00
45	6-12-0	136-77	124-00

Ex, rate 1/2. 1/2

6 月中三港輸入概況一漸増 (附 4 月中の輸入表)

曩に昨今の三港輸入數量は 2 萬噸前後が常態ではあるまいかと云つたが之れは現在及近き將來の需給關係を考慮し、冷靜なる市場に

於ける常識的標準が此の程度であると見たのである。若し需給のバランスがとれず、市況が異様に緊張して来れば此の限りではなく市場向の物が增加するのは免れない。

仄聞する處に依れば 6 月から 7 月にかけて可成多量の輸入が出来たとの事であるし 7 月末から市況も翻轉して一齊に強調を傳へられてゐるので 2 萬噸前後の常態を維持する事は至難であらうが、それは變態で如何に供給が少いとは云へ静に現在の經濟界を顧れば放逸に流れる無暴なる輸入は決して今後の鐵鋼界を益するものではない。常態は飽く迄も 2 萬噸前後であつて若し必要止む得ず供給を輸入に仰ぐとすれば餘程慎重なる配慮と統制を要するであらう。

前年同期累計は 19,000 噸本年累計は 12,200 噸、増加してゐる物は溝形 1,970 噸、工形 660 噸、軌條 480 噸、鋼管 2,380 噸、リボン 830 噸、計 6,320 噸で其の他は全部減少して差引約 6 萬 8,000 噸の輸入減である。最も減少率の多い物は鋼板 0.7mm 以下で本年 6 ヶ月間に只の 2 噸入つたばかりである、輸出向として保税までは来るが特殊物も黒板も今後共輸入の餘地なしと云はれてゐる。鋼板 0.7mm 以下は特別で其の他は増減共夫々意義があつて本年上 6 ヶ月間に於ける限りは何れも應分の状態と見られてゐる。

ブラッセル託通信

7 月 7 日 今週の市況は先週と何の變化もなく引續閑散にて只棒鋼のみ幾分入注ある模様御座候

目下夏期にて建築時期なるに拘らず型物の需要頗る少き由、薄板共販機關組織の交渉著々と進捗せるものゝ如く結成を見るならんと申居候

相場は何れも變化御座なく候

7 月 14 日發信 今週の市況に引續き閑散を極め居候へ共他品に比し棒鋼のみ幾分取引を見又半製品も輸出向には商談ありたるも内地商内は皆無の由相場も變化なく候昨年度の白耳義ルクセムブルグ經濟同盟より日本向輸出額は 2 億 7,700 萬法を計上し未曾有の額に上り内金屬製品 2 億 3,600 萬法を示し總輸出額の 85% に當り内鐵鋼材は 2 億 2,600 萬法を計上し居噸數を前年(即ち一昨 1933 年度)と比較しその只種別の表を擧ぐれば次の如し(噸單位)

	1932	1933
Bramas & Blooms	3,149 tons	( — )
Billettes & Sheet-bars	47,521	( 5,860 )
I. T. L. U. Z. etc.	15,576	( 3,249 )
Irons	47,244	( 18,044 )
Sheets	92,032	( 13,789 )
Hoops	50,240	( 32,515 )
Wire-rods	19,741	( 16,967 )
Wire (Cold drawn)	1,539	( 1,168 )
	279,042 tons	91,592 tons

表は當國大藏省關稅局發表にかゝるものなるが我大藏省發表の數字によれば(昭和 8 年 12 月分月報) 2 億 700 萬斤即ち 12 萬 4,000 噸となり表の 27 萬 9,000 噸と倍量以上の開きを見又金額を比較するに我大藏省發表白耳義輸入鐵類金 1,044 萬 5,000 圓也これを昨年中平均爲替相場にて換算すれば金 7,311 萬法となり白耳義政府發表の 2 億 2,600 萬法とは多大の差あるを見(これに運賃保險料等日本著迄の諸費用を加算すれば一層その差大となるべし)確實なる調査資料を缺くも恐らく昨年中その需要旺盛なりし滿洲國向の日本船積の鐵材を含むものと信じ居申候

7 月 20 日發信 市況は既に暑假期節に入りたるため閑散にて相場も變化なく候

各工場は既に茲數ヶ月の注文を握り居り殊に棒鋼の注文多く半製

品型鋼業鋼等何れも比較的入注少くなりたる由にて只日本の半製品の買附を續け又滿洲國向鋼板並に型鋼の取引がなく行かれたる由に御座候

輸出市場に於ける日本品の注意を惹き居候

7 月 21 日發信 「ウグレーマリエー製鐵會社決算報告に就いて」右本期の決算報告發表されたるが本期は昨年に比し製鐵部利益激増し反之石炭部は不相變缺損を續け次の如く計上せらる

	1933/1934	1933/1934
製鐵部利益	fr. 60,850,004.97	fr. 25,821,438.58
差引石炭部缺損	7,182,689.86	10,502,168.78
	fr. 53,667,315.11	fr. 15,319,269.85

損益勘定對照表を示せず

利益の部		
	1933/1934	1933/1934
營業總益	fr. 53,667,315.11	fr. 15,319,269.85
投資利益	8,329,758.27	7,629,879.73
外國工場その他	7,404,796.53	5,041,606.07
外國投資利益	—	—
前期繰越	—	626,074.37
純損	—	11,688,416.91
	fr. 69,401,869.91	fr. 40,305,246.93

損の部		
	1933/1934	1933/1934
營業費	fr. 49,291,774.93	fr. 40,305,246.93
社會施設費	3,246,204.48	—
償却費	1,670,373.00	—
純益	15,193,517.50	—
	fr. 69,401,869.91	fr. 40,305,246.93

即ち前年度純損 1,168 萬法に對し本年度は純益 1,519 萬 3,000 法の純益を擧げその處分方法は

純益	fr. 15,193,517.50	東西市況一騰勢不熄
差引前年度損失額	11,688,416.91	今旬は愈々丸鋼を
	fr. 3,505,100.59	初めとして角、平と
法定積立金	fr. 760,000.00	棒鋼が一齊に好調を
次期繰越(無配當)	2,745,100.59	即 1931/1932 期以來 3 年共無配當を續く

呈してゐるし旁々秋口でもあるので、本来ならば底力ある市況が其の後に續くのが常道であるが需給關係に一抹の不安があるので腰を入れての強氣には成り切れないやうである。

然しながら外面的には依然として堅調で何れも大なり小なり高値を出してをり何と云つても荷物が極端に少いので病的の強調ではあるが噂に聞く外注が入る迄は無物高の商況を續けるものと見られてゐる。

販賣旬報 第 22 號 昭和 9 年 9 月 1 日

日本製鐵株式會社販賣部

9 月積及 10 月積 SS 會賣出協議會一値上げ

月日場所 8 月 21 日 東京本社販賣部 出席者 三井、河合、近藤、岡谷、特殊製鋼及日鐵

議事 9 月積 10 月積普通特殊鋼賣出に關する件 強氣の材料より云へば普通特殊鋼は他の鋼材とは市場も環境も全然異なるとは云へ趨勢より見て當然相當大幅の値上げを至當とするにあるが一方弱氣としては現在の賣値の軟勢や今回の契約品の入荷が不需要期に向ふ初冬に當るのみならず、社外品の侵入も可なりの勢力あるを以て大なる期待を懸くる事を得ずと云ふにあるが此兩者をカクテルとして結局僅少の値上に止むることとした。

外注値段

Cif	£ 6-12-6
Ex. ½-¾	¥ 111.83
Duty	25.06
Charges	2.50
Total 1,016 kg	¥ 139.39
Kilo ton	137.18

9、10月積精線會賣出協議

會一部訂正  
 月日場所 8月16日東京丸  
 ノ内會館 出席者 神戸、日鐵、  
 岩井、安宅、日商

議事 9、10月積特殊線材賣出に關する件 内地市場は普通線材の高値に刺戟されて漸次強含みなることは事實なるも未だ全般に亘つて値段を動かす程度にでもなく外注も大體變らざるを以て値段は一部分に就て訂正し其他は据置きとし數量は前月より若干増加した猶今迄數回問題となつて居た熔接用線材に就ては確信も出來たので今月から賣出すこととした、過去に於て低炭素から拾ひ出されて應用されて居た所謂熔接線材も追々と影を消すことであらう、

Special Wire Rods

Sept. shipment

	High Carbon	Copper Bearing	Wood Screws
	£ 6-16-0	£ 5-16-0	£ 6-2-6
Fxch ½-¾	¥ 115.01	¥ 98.11	¥ 103.60
Int. 1.3%	1.49	1.28	1.35
Charg. s	0.90	0.90	0.90
Duty	22.01	22.01	22.01
Per 1,000 kgs	¥ 139.41	¥ 122.30	¥ 127.86
	¥ 137.21	¥ 120.49	¥ 125.97
	Welding	Low Carbon	Thick Gauge.
	£ 5-12-0	£ 5-11-6	£ 5-12-6
Ex ½-¾	¥ 94.74	¥ 94.31	¥ 95.14
Int. 1.3%	1.23	1.23	1.23
Charg. s	0.90	0.90	0.90
Duty	22.01	22.01	22.01
Per 1,000 kgs.	¥ 118.88	¥ 118.45	¥ 119.28
	¥ 117.12	¥ 116.70	¥ 117.51

Telegraphic

£ 5-16-6
Exch. ½-¾ ¥ 98.52
Int. 1.3% 1.28
Charges 0.90
Duty 22.01
¥ 122.71
Per 1,000 kgs ¥ 120.90

10月積三S會賣出協議會

月日場所 8月21日東京丸ノ内  
 會館 出席者 三井、三菱、日立、高  
 島屋、日鐵

議事 10月積珪素鋼板賣出に關する件

1、値段 一般鋼材は此處1ケ年に材料の急騰其他の原因で可成り激しい變動を來して居るが、珪素鋼板は特殊のものとは言ひながら8年2月以降の1ケ年半以上も引き続き据置きの一歩張りりと云ふ珍現象を呈して居る外注採算は依然變りは無。之とは反對に電氣界は昨年に比すれば異様の活氣を呈して來た。此の點から見ても豫て宿題となつて來て居る値上問題も此處等で一節つける潮時では無いかと思はれたが又次回に持越す事になつて今も前月通りの据置に決定した。

値段

- (イ) 電働機用珪素鋼板 B1級
  - 函入のもの 1 噸に付 金 305 圓 (据置)
  - 裸バンド締のもの " 金 295 圓 ( " )
- (ロ) 電働機用珪素鋼板 C1級
  - 函入のもの " 金 325 圓 ( " )
- (ハ) 電働機用珪素鋼板 D1級
  - 函入のもの " 金 345 圓 ( " )
- (ニ) 變壓器用珪素鋼板 T1級
  - 函入のもの " 金 420 圓 ( " )
- (ホ) 2 級品 4 割見當混入差支なし、2 級品の賣價は各々 1 級品賣價の金 20 圓引のこと。

(ヘ) 珪素鋼板厚物に對しては T 級品は金 10 圓引其他のものは各種共金 5 圓引のこと。

2、數量 前月の 1,780 噸に對し今月は 2,050 噸の申込があつたが積遅れ其他を考慮して 1,600 噸引受くる事に決定した。申込の内容次の通り

B 級 1,020 噸 D 級 305 噸 T 級 725 噸 計 2,050 噸

3、締切 8 月 27 日

LATEST CURRENT PRICES OF FOREIGN ELECT. STEEL SHEETS

Tokyo, 21st Aug. 1934

	English		American		
	Stalloy (T)	Spec. Lohys (B)	Apollo Special (T)	Armco #2 (T)	U. S. Trancor Electrical (B)
Cif per 2,240 lbs	£ 27-11-6	£ 21-2-6	\$ 133.42	\$ 135.52	\$ 102.50
Ex. ½-¾, \$ 29-¾	¥ 465.41	¥ 356.57	¥ 446.59	¥ 453.62	¥ 343.10
Interest 1.3%	6.05	4.64	5.81	5.90	4.46
Import Duty	6.77	6.77	6.77	6.77	6.77
Landing Charges	1.10	1.10	1.10	1.10	1.10
Per Long ton	¥ 479.36	¥ 369.08	¥ 460.27	¥ 467.39	¥ 355.43
Per 1,000 kg	¥ 471.81	¥ 363.27	¥ 453.02	¥ 460.03	¥ 349.83

10、11月積縞鋼板賣出協議會

月日場所 8月18日東京本社販賣部 出席者 三井、安宅及日鐵  
 議事 10、11月積縞鋼板賣出しに關する件

1、値段 外注 cit は前月の 7-2-9 と同様にて爲替の關係上河岸採算に於て約 50 錢の値上りとなり市況は栴變らずの好調を續け居り多少値上の餘裕はあれ共右や次の振合土前月通りの据置に決定した。

1、數量 數量の増加希望は何の鋼材でも御定まりの條件となつた此頃なれば承り置く事にして前月同様の賣出數量に決定した。

N. S. K. K. Chep. Plates

Oct./Nov. Shipment.

Cif	Ex. @ ¥ ½-¾	Import Duty	Ch. & int	Per. lt	Per. kt
¥ 7-2-9	120.74	25.06	2.50	148.30	146.11

10、11月積美裝鋼板賣出協議會

月日場所 8月20日 本社販賣部 出席者 三井、高島屋及日鐵  
 議事 10、11月積美裝鋼板賣出しに關する件

1、値段 美裝鋼板の賣價基準の中板は依然据置黑板厚物は大幅の値上を來せしも常に變動激しく不安定の黑板に追隨して値上をする事は一考を要する事なれば協議の上當分市況を靜觀する事にして値段は前月通りの据置に決定した。

2、數量 數量は舊を先月より 150 噸の責任數量とした爲め鳩に不足を來し早速鳩の増額が問題となつた、買手側の要求を加味して次の通り決定した。

數量 400 噸 (但 2 割増減差支なし)

鶯 150 噸 鳩 250 噸 計 400 噸

3、締切 8 月 28 日

7、8月積及8、9月積鐵力板の申込及引受高

7、8月積鐵力板申込及引受高

區別	申込高	引受高		
		200 lbs	170 lbs	計
向先				
東大	434	93	341	434
京阪	475	94	381	475
名古屋	63	8	55	63
其他	28	6	22	28
計	1,000	201	809	1,000



不況の際などは消費は減ずる一方であるから供給統計を眺めただけで、先行の予測は殆んど誤らないが、今日のように軍需に輸出に造船に建築に需要が擡頭して来ると需要と供給を合せなければ適切な判断は出来ないから供給統計は其意味から云へば斯る際には其價值は半減されてしまう。

別表の數字には左記の條件が含まれて居る。

- (1) 日本製鐵の分は 6 月迄の實産高、但し 1 月分の富士、釜石は民間に含まる。
- (2) 「其他」は鐵鋼協議會調査に據つたもので、これは 5 月迄の報告に基いて 6 月分を推定して加算したものである、但し二社だけは報告が未着な爲め 1 月若しくは 4 月から推定した。
- (3) 輸出入は大藏省貿易月表に準據し品種は三港輸入の數量で按分したものである。
- (4) 例により主として丸、角、平の小型に關する伸鐵の 10 萬噸内外の供給を度外視して居る。

第 1 表は 數量的に見た過去 3 ヶ年の上半期の供給比較である。

第 2 表は 第 1 表の昭和 7 年を基準として増減の程度を見るに便なる爲めの百分率表である。

第 3 表は 内地供給高より減すべき輸出數量の觀察に便する爲め作製したものである。元來第 1 表と連繫すべきものであるが品種の區分が全然異なる爲め別表とした。

第 4 表は 鐵鋼の源泉を爲す原料として切要な銑鐵と屑を掲記したものである。

前述の様に消費統計を待たぬ今日では、此供給統計は特に慎重にあらゆる角度と方向から觀察する必要があるが、茲では單に其輪廓だけを拾ひ細部に就ては御研究に譲ることとした。

第 1 表に就て。

輸出を度外視した内地への供給は總計の最下欄の數字である。之れを 7 年以來半期毎に分けて見ると

7 年上半	〃	下半	8 年上半	〃	下半	9 年上半
1,071,605		1,037,814	1,393,222		1,423,182	1,580,093

と當然増加の傾向に在るは論を俟たぬが、實際の内地供給は之れから輸移出を差引かなければならないが移出は大した數量でもないの、之を省いて第 3 表の輸出だけを差引いたものを掲げれば

7 年上半	〃	下半	8 年上半	〃	下半	9 年上半
1,035,837		929,393	1,293,514		1,259,895	1,372,555

と云ふ様に上、下半期づゝを採ると案外に起伏が多く供給の増加率は比較的緩慢の状態にあることが觀取される、換言すれば漸次輸出が増加して來て居る。

此數字から見れば 8 年の下半期と 9 年上半期を比較して今期は僅々 11 萬 2,000 餘噸の増加に過ぎない。勿論之は大體論であつて、各品種に亘つて見れば夫々異なる状態に置かれると云ふことは言を俟たないが、輸出の品種區分が明瞭を缺くので正確なことが見られないのは遺憾である。然し半ヶ年に 11 萬餘噸と云へば全體から見れば 10% に達しない數量であるから概念上から云ふても一寸供給不足の感がある。

次に品種別に前年同期に比較すると條鋼は前年から殆んど増加しない、細部に亘つて見ても溝形が 1 萬噸近い増加を示した外は丸鋼工形の様に減少を示したものとさへある程で其他も前年同期と近似して著しい進展の模様は見られない。

軍需の中心と自他共に許す鋼板にしてからが、僅かに 6 萬 7,000 噸の増加に過ぎない。それでも其核心たる 0.7mm 超は流石に 3 萬 7,000 噸の増である。其他のものは思ふた程には増加して居らぬ。

數量から見て増加率の多いのは軌條類で、偶然にも鋼板と同じ様に 6 萬 7,000 噸増である。同じ 6 萬 7,000 噸でも鋼板は 50 萬噸臺なのに軌條は 20 萬噸に足らぬものであるから可なり急激な増加と見ることが出來よう。

其他の品種では線材が 5 萬餘噸の増を示した外、鋼管の如きは變態的に減少である。

然らば何故思ふた程の増量が無かつたか。

要するに内地生産に就ては昭和 7 年頃の既存能力が其頂上に達し而も新設能力が未だ充分其能力を發揮し得ない過渡的の時期にあるものと判断される、單に此の半期づゝを昭和 7 年、8 年及 9 年と比較すれば内地生産は 8 年及 9 年共其前年に比し 24 萬噸の増加である。然し其基礎數量から見れば増加率は寧ろ減少して居るのが見られる。

此表で見ると、日鐵が非常に増加して其他が僅少な増加に留まる様に見えるが、これは今年の日鐵創立による製鐵所、釜石、富士の合計を舊製鐵所と比較した爲めであるから此區分の表は餘り参考にはならず結局内地生産計で見ると一番正確である。

そこで「内地生産計」の「條鋼」「鋼板」「軌條」の三大品目に就て 8 年と比較すれば

絶對數は	鋼板 9 萬 1,000 噸増	軌條 6 萬 5,000 噸増
	條鋼 2 萬 7,000 噸増	

と流石に鋼板は光つて居るが、

増加率から見ると 軌條 156.25%、鋼板 124.43%、條鋼 106.08% と云ふ様に軌條の増加に驚く前に條鋼が如何に貧弱であるかが窺はれる。

概念的に云ふて現在の鋼材市場が狂奔昂騰を繰り返す事も、漠然と想像される消費力の増加と、此供給の現象から一面無理からぬ様にも思はれる。

然らば輸入はどうであつたか、總計では前年同期よりも 5 萬 6,000 噸も減少した。是れは結果論かも知れぬが頗る自然の様に觀察される。即ち昭和 7 年の秋に爆發した時に我も我もと外注に走つた爲に結局 8 年上期に 23 萬噸に近い輸入を見る事となつたが、其後内地製鐵鋼業者の増産の豫期と需要の見透しが付かなかつた爲めや昭和 3、4 年の短期好況の苦い經驗などから非常に退嬰的となり、自重に傾むいたので漸減して、8 年下期には 17 萬噸に足らぬ數量となり、9 年上半期にも若干の増加はあつたが大體同様な趨勢を辿つたのである。

然し本年 7 月中頃よりの市場の豫想を裏切つた昂騰は、再び外注を刺戟して下半期特に 10 月頃より相當纏つた數量の入荷を豫期されて居る。其結果は神以外に知る者はあるまい。

此内容に亘つて見ても軌條に於ける僅少の増加の外は條鋼も鋼板も前年同期に比し軒を並べて減少して居る。

條鋼中では一時全く終熄した溝形、工形が型破りに増加した以外、多少の差はあるが殆んど減少の傾向を見せて居る。只此中で不相變フープが 4 萬 4,000 噸と其王座を占めて居るのは華々しいが、已に内地に生産設備が著々進められて居るので近き將來には其姿を消すであらう。鋼板では 0.7mm 超の 2 萬 8,000 噸の減少と、鉄力の漸増が特に目を引くものである。

第 2 表は昭和 7 年の上半期を 100 とした百分率表であるが前述の様に絶對數の増加はあまり顯著ではないと云ふものゝ昭和 7 年から見れば總計では 50% 近い増加と云ふ事を知る時は、今更ながら前言を取消したいと思ふ程の急角度を辿つて居る事が窺はれるが

(第1表) 過去3ケ年上半期

品 種	製 鐵 所	日 鐵			其 他		
		7 年	8 年	9 年	7 年	8 年	9 年
條 鋼	丸角	31,901	52,502	95,547	150,197	186,949	134,393
	平	11,766	11,373	12,964	2,702	12,087	14,280
	等	10,841	9,403	18,845	14,728	19,524	16,504
	邊	27,968	41,408	54,431	40,489	52,814	51,146
	山形	11,767	15,447	17,291	4,117	5,850	12,907
	鋼	19,844	22, (9)	16,605	—	—	—
	鋼	16,569	26,750	32,748	—	—	—
	鋼	5,115	2,610	3,809	—	—	—
	溝	9,315	720	—	—	—	—
	シ	439	2,178	5,635	6,059	835	3,587
フ							
其							
小 計	145,525	184,481	257,875	218,292	278,059	232,817	
鋼 板	鋼板 0.7mm 超	55,717	90,003	119,572	78,946	122,772	157,632
	〃 〃 0.7mm以下	15,905	12,895	12,552	122,526	115,401	135,817
	素鋼	3,176	6,781	7,862	—	—	—
	鋼力	1,105	1,637	3,423	—	—	—
	鋼板	16,977	17,776	21,869	—	—	—
	力	1,763	2,174	1,208	—	—	—
	平	—	2,669	3,164	—	—	—
	鋼	—	—	—	—	—	—
	他	—	—	—	—	—	—
	小 計	94,648	133,985	169,650	201,472	238,173	293,449
軌條及 附屬品	重軌	94,460	90,819	144,411	—	—	—
	輕軌	7,744	18,063	23,884	—	—	—
	繼	1,751	6,822	12,490	—	—	—
	小 計	103,955	115,704	180,785	—	—	—
外線鋼 其	輪、車	1,900	2,810	5,615	4,440	6,045	6,468
	軸材	53,712	58,154	59,135	49,131	72,089	131,275
	管他	—	—	—	47,943	62,150	53,066
	小 計	2,934	2,615	3,299	1,332	11,328	15,029
總 計	402,674	497,749	676,359	522,610	667,844	732,104	
1 年 總 計	838,723	1,041,066	?	1,052,739	1,383,887	?	

(第2表) 百 分 率 比

品 種	日 鐵	其 他		内 地 生 産			
		8 年	9 年	8 年	9 年		
條 鋼	丸角	164.58	299.51	124.47	89.48	131.50	126.27
	平	96.66	110.18	447.34	528.50	162.15	188.31
	等	86.74	173.83	132.56	112.06	113.13	138.25
	邊	148.05	194.62	130.44	126.32	137.64	154.22
	山形	131.27	146.94	142.09	131.50	134.08	190.12
	鋼	111.32	83.68	—	—	111.32	83.68
	鋼	161.45	197.65	—	—	161.45	197.65
	鋼	51.03	74.47	—	—	51.03	74.47
	溝	7.73	0	—	—	7.73	0
	シ	496.13	1,283.60	13.78	59.20	46.37	154.22
フ							
其							
小 計	126.77	177.20	127.38	106.65	127.14	134.37	
鋼 板	鋼板 0.7mm 超	161.54	214.61	155.51	199.67	158.01	205.85
	〃 〃 0.7mm以下	81.08	78.92	94.18	110.85	92.68	107.18
	素鋼	213.51	247.54	—	—	213.51	247.54
	鋼力	152.67	309.77	—	—	152.67	309.77
	鋼板	104.71	128.82	—	—	104.71	128.82
	力	122.96	68.33	—	—	122.96	68.33
	平	—	—	—	—	—	—
	鋼	—	—	—	—	—	—
	他	—	—	—	—	—	—
	小 計	141.56	179.24	118.22	145.65	125.68	156.39
軌條及 附屬品	重軌	96.15	152.88	—	—	96.15	152.88
	輕軌	233.25	308.42	—	—	233.25	308.42
	繼	389.61	713.31	—	—	389.61	713.31
	小 計	111.30	173.91	—	—	111.30	173.91
外線鋼 其	輪、車	147.89	297.42	136.15	145.68	139.67	190.58
	軸材	108.27	110.10	146.73	267.19	126.64	185.15
	管他	—	—	129.63	110.69	129.63	110.69
	小 計	89.13	112.44	850.45	1,128.30	326.84	429.63
總 計	123.61	167.97	127.79	140.09	125.97	152.22	



鋼材供給高比較表

内地生産			輸 入			總 計		
7 年	8 年	9 年	7 年	8 年	9 年	7 年	8 年	9 年
182,098	239,451	229,940	4,934	13,021	6,180	187,032	252,472	236,120
14,468	23,460	27,214	961	2,317	938	15,429	25,777	28,182
25,569	28,927	35,349	4,393	7,890	3,085	29,962	36,817	38,434
68,457	94,222	105,577	1,045	10,663	2,278	69,502	104,885	107,855
15,884	21,297	30,198	853	1,617	1,320	16,737	22,914	31,518
19,844	22,090	16,605	1,023	91	980	20,867	22,181	17,585
16,569	26,750	32,748	463	981	3,883	17,032	27,731	36,631
5,115	2,610	3,809	10,873	1,304	1,603	15,988	3,914	5,417
9,315	720	—	31,757	53,844	43,472	41,072	54,564	43,472
6,498	3,013	9,222	1,865	635	1,847	8,363	3,648	11,069
363,817	462,540	490,692	58,167	92,363	65,591	421,984	554,903	556,283
134,663	212,775	277,204	5,518	47,697	19,859	140,181	260,472	297,063
138,431	128,296	148,369	10,547	1,031	111	148,978	129,327	148,480
3,176	6,781	7,862	1,462	835	748	4,638	7,616	8,610
1,105	1,687	3,423	36	2,705	1,948	1,141	4,392	5,371
16,977	17,776	21,869	42,223	47,861	53,062	59,200	65,637	74,931
1,763	2,174	1,208	—	—	—	1,768	2,174	1,208
—	2,669	3,164	—	—	—	—	2,669	3,164
296,120	372,158	463,099	59,786	100,129	75,728	335,906	472,287	538,827
94,460	90,819	144,411	2,344	440	—	96,704	91,259	170,933
7,744	18,063	23,884	524	170	2,638	8,268	18,233	—
1,751	6,822	12,490	126	26	17	1,877	6,848	12,507
103,955	115,704	180,785	2,894	636	2,655	106,849	116,340	183,440
6,340	8,855	12,083	112	60	50	6,452	8,915	12,133
102,843	130,243	190,410	17,886	27,145	17,450	120,732	157,388	207,860
47,943	62,150	53,066	5,825	3,941	7,168	53,768	66,091	60,234
4,266	13,943	18,328	1,648	3,355	2,988	5,914	17,298	21,316
925,284	1,165,593	1,408,463	146,321	227,629	171,630	1,071,605	1,393,222	1,580,033
1,891,462	2,424,953	?	217,957	396,451	?	2,109,419	2,821,404	?

較 表 (7年を基準とした%)

輸 入		總 計		8年と9年の比較
8 年	9 年	8 年	9 年	
263.90	125.25	134.99	126.25	93.52
241.10	97.61	167.07	182.66	109.33
179.60	70.23	122.88	128.28	104.39
1,020.38	217.99	150.91	155.18	102.83
189.57	154.75	136.91	188.31	137.55
8.90	95.80	106.30	84.27	79.28
211.88	838.66	162.82	215.07	132.09
11.99	14.79	24.48	33.88	138.40
169.55	136.89	132.85	105.84	79.67
34.05	99.03	43.62	132.36	303.43
158.79	112.76	131.50	131.83	100.25
864.39	359.89	185.81	211.91	114.05
9.78	105.24	86.81	99.76	114.81
57.11	51.16	164.21	185.64	113.05
7,513.89	5,411.11	334.93	470.73	122.29
113.35	125.67	110.87	126.57	114.16
—	—	122.96	68.33	55.57
167.48	126.67	132.70	151.40	114.09
19.61	95.30	94.37	162.34	156.11
32.44	—	220.52	—	—
20.63	13.49	364.84	666.33	182.64
21.98	91.74	108.88	171.68	157.68
53.57	44.64	138.17	188.05	136.10
151.74	97.55	130.36	172.17	132.07
67.66	123.06	122.92	112.03	91.14
203.58	181.31	292.49	360.43	123.24
155.57	117.30	130.01	147.45	113.41

(第3表) 過去3ヶ年上半期鋼材及鐵製品輸出高

品 種	7 年	8 年	9 年
條 及 竿	2,283	13,255	59,246
板	1,875	5,075	17,017
線	1,923	9,803	17,197
線筒	528	691	1,373
層	4,477	9,205	22,816
レール(フイツシュエプ)	4,440	2,764	5,941
レートを含む其他	12,127	45,123	51,734
小計	27,658	85,916	178,931
鉄 釘	4,453	7,940	21,047
瑯 鐵 器	3,657	5,852	7,560
小 計	8,110	13,792	28,607
1ヶ年總計	144,189	267,995	—

(第4表) 上半期銑鐵及故屑鐵輸入高

品 種	噸 數			% 率		
	7 年	8 年	9 年	7 年	8 年	9 年
銑 鐵 (海外を除く)	101,796	77,137	74,387	100.00	75.78	73.07
(滿洲を加ふ)	298,445	351,802	270,988	—	—	—
故 及 屑	277,258	457,540	602,106	100.00	165.02	217.16
1ヶ年總計	599,080	1,012,961	?	—	—	—

此趨勢は果して何時まで続くことやら、耻しながら旬報子には皆目見當が付かぬ。然し過去のカーブに想到する時は今から相當の警戒を要する様に遂々弱氣になり勝ちなのを如何ともすることが出来ない。

増加したものは當然であるから之を省いて、時流に逆行して減少したものを總計欄の上から拾つて見ると、先づ工形鋼に突き當る、其次はシートパイリングである、特にシートパイリングは34%である、8年も25%と極減して居るのは果して何に原因して居るか相當研究を要するであらう。

次は鋼板の0.7mm以下が昭和7年から一向増加して居らぬのは如何した譯か、第3表にも見る様に「板」の欄は7年に比し1萬5,000 吨も増加して居るのに寔に不思議である、一面には黒鉄の亂闘を警戒して、珪素鋼板や鉄力原板等に轉向したのも一因と考へられる。次はユニバーサル平鋼なるものが追々と其影が薄くなるのは耳付鋼板の壓迫によるものであらう。

次に第3表の輸出表に移るが之れは大藏省貿易月表の區分が簡単な爲め、内地生産や輸入と比較し得ないのは返す々々も残念である、我國の鐵鋼も愈々輸出の本舞臺に乗り出した事であるから是非此輸出統計の完璧を期したいものである、せめて輸入と同じ區分をなす事だけでも實現しなければならぬ。過去に於て製鐵所の輸入統計が如何に我國鐵鋼業の發達に貢獻したかと云ふ事に想到する時は此輸出統計の完成が實に重大であると云ふ事は明瞭であらう。

輸出が最近如何に飛躍したかと云ふことは此第3表を見れば一目瞭然である。猶之れを省約して昭和7年より半期毎に其概數を示せば

7年上半	7年下半	8年上半	8年下半	9年上半
36,000	110,000	150,000	170,000	210,000

となるが今期の輸入が17萬吨なるに對し第3表中の「屑及故」を除いても、猶且輸出は20萬吨を保持して、輸入を凌駕して居る事は誠に心強いものがある、兎に角我國鐵鋼創つて以來嘗へ半期間とは云へ鐵鋼の輸出超過を見たこと云ふのは正に今期が初めてで此點は我國の鐵鋼史上最も紀念すべき一大現象である。

然も今期は其増加の傾向は全面に亘つて居つて減少したものが一も無いと云ふに到つては澎湃たる海外進出の力が如何に目覺しいかに窺はれて思はず快哉を叫ばしめるものがある。

斯く觀し來れば我國に於ては鐵鋼の輸入は勿論多少の波瀾はあらうが要するに已に過去の遺物となりつゝあるのである、従つて將來吾人の關心は此輸出表に集中されなければならないのである。

第4表は鐵鋼業隆替のパロメーターたる「屑及故」と「鉄鐵」の輸入を瞥見したものである。

鉄鐵は内地生産の増減もあるから此輸入のみを見ては判斷出來ぬが滿洲以外の輸入が半期間で未だ7萬5,000 吨もあると云ふことは今日の鐵鋼業の隆盛を裏書するものである。

特に「屑及故」は昭和7年の2倍以上に増加して居る、平時にはこれでもよからうが、一朝有事の際に想到する時は一考も二考もさせられるものがある。

此上半期に於ける特異性を擧ぐれば其第一は量的に鐵鋼貿易が順鞘を示した事である、之れは慥かに劃期的の事實であるから一應は喜ぶものゝ、さりとして無條件に禮讚するには未だ早い、即ち此輸出は恐らく滿洲國を中心としたもので、其滿洲國は現在に於ては建國創業の爲め非常時なのである、吾人は常に特異の原因による沈滞を悲まざると同時に異常の素因による好況を喜ぶべきではあるまい。

當面の事もさる事ながら今一步前進したる狀況に應ずべき準備を今より心掛くべきであらう。

第2は内地生産能力である。前にも書いた通り是等の表に現はれた數字を眺めると、各メーカーの既設能力は一應此邊で飽和状態となつた様な氣がする、設備の新設と其能力の發揮は相當の期間が必要である、製鋼、壓延に亘る舊設備の改造や死蔵の復活もどうやら最近其最大能力が發揮出來、新設備は製鉄を除けば概ね額も出揃つた模様であるから此新勢力が今年下期から來年上期に掛けて擡頭して來る様に思はれる、換言すれば更生した日本鐵鋼の新陣容も昭和10年中には略完成の域に達するのではあるまいか。

果して然らば次の問題は輸出を包含したる消費力の消長である、鬼と出るか蛇と出るか我國鐵鋼の死活の鍵は、しつかと彼手に握られて誰れも窺ふ事を許されぬのである。

7月中三港輸入概況-2萬700 吨

1、7月中の三港輸入は前月より僅々100 吨の減少なので殆ど不變と云ふ事が出来るが鉄力、線材、シートパイリング、フープ、リボンと云ふ特殊扱せらるべきもので2,700 吨の減少、工形、鋼管が殆ど同量なので其他の一般的に注目を要する品種は却つて2,600 吨増加してゐる譯である。

右の減少した物の中フープが前月、今月共多少行き過ぎてゐる感があるので此處に多少減少の餘地が有るやうに見られてゐるが之れとても決して多い數量の減少ではなく其の他は鋼材界の現状から推測すれば此處當分は減少せぬであらう。

而も將來増加するであらう處の此の減少に對してゐる今月の2,5,600 吨の増加は未だせんが爲めの輸入ではなく特殊需要に伴ふ自然増加なので條鋼、鋼板の増加が必至の運命にある近き將來に於ては當然2萬吨前後の常態は突破せられ従つて需給の分野に大なり小なり何等かの變動を起すものとして久しく視野の圏外に置かれてゐた輸入が再び關心を持たれ初めたやうである。

然しながら今月は多かるべき鋼板、鉄力、フープの三種で過半数の1萬4,400 吨を占め残り6,300 吨か其の他の間に適當に分割輸入されてゐるので今月に關する限りは未だ輸入は常態と云ふべきであらう。

2、輸入は増減常無く、殊に後進國にして而も近年躍進目覺しき我が國の如きに於ては過去と現在に於ける輸入状態には著しい相異が有つて一概に過去の數字を以て今日を律する事は出來ないが以て推移を知り將來を察する何等かの參考とするには足りやう。

次表は昭和4年1月以降本年6月迄の66ヶ月間(フープ及びリボンは7年1月以降30ヶ月)の品種別輸入數量の1ヶ月の平均數と本年7月の輸入數量とを並記したものである。

聊なりとも利用せられれば幸である。

品 種	1ヶ月 昭和9年 平均7月	品 種	1ヶ月 昭和9年 平均7月		
丸 鋼	2,013	542	鉄 力	4,643	3,427
角 鋼	232	199	軌 條	811	45
平 鋼	773	611	線 材	4,869	1,147
等 山	860	136	シートパイリング	1,047	112
不 等 山	233	—	鋼 管	1,675	1,364
溝 形	319	182	フ ー プ	4,656	7,270
工 形	549	58	リ ボ ン	393	504
鋼板(0.7mm超)	3,046	3,715	其 他	1,358	1,421
〃(0.7mm以下)	2,184	—	計	29,661	20,733

ブラツセル通信

9年8月4日發信 暑中休暇期に入り引續き市況は閑散を極め居り秋口迄はかゝる情勢を續けるものならんと存せられ申候白耳義共販機關たる「コジベル」の7月1日より28日迄の7月分4週間中の割當入注量は11萬1,000噸を超過し居る由内鋼板の注文多かりしは「ソヴィエト」の注文成立のためにして2萬噸中1萬4,000噸の厚板と2,800噸の薄板を含める由

相場は保合不變

本年上半期白耳義鐵鋼生産量

		本年上半期	昨年上半期
銑	鐵	1,429,400 噸	(1,432,600 噸)
鋼	塊	1,422,500 噸	(1,440,900 噸)
鑄	鋼	23,400 噸	( 28,200 噸)
鋼	材	1,093,300 噸	(1,117,000 噸)
鐵	材	29,400 噸	( 15,400 噸)

8月10日發信 引續き暑中休暇期として市況は閑散を極め居り候歐洲鋼塊「カルテル」は目下致須並に波蘭の加入問題を討議致居り又 cif 値段中「スカンディナヴィア」向のものは物により2、3志引上申候

東西市況——齊高 梅雨期も大過なく送り、夏枯時を忘れて來た鋼材界である。現在の需給關係を知る者は8月の締切後は誰もが相當に期待してゐたので今更改めて騒ぐ事もなく冷靜なる沸騰を受け容れてゐる。

勿論品薄ではあり需要は全國的にレベルが上つてゐるので思惑が見受けられるのは免れないが是れも一途に逐鹿の獵師とはならず、需要家も現品の入手難に痺を切らしてゐるが大口の入用は何處からとも無く荷が廻つて行くし2、3日來多少買集り氣味が窺はれるが小口組は概して無理に手當を要しないので是も亦無暴を極めた買付けがなくて市況の高値に比しては大勢は堅實なる前進歩調を辿つてゐる。

今日の情勢に關しては種々の角度から多様に眺められてゐるが「供給量の増加とそれに充分適應して餘りある老なる需要が擡頭してゐるには違ひないが市場に對する供給は決して激増してをらず復市場に據つて消化せられる量も決して増進してゐるわけではない。品薄を啣たれるのは比較的少い商内よりも尙ほ供給が少いから要するに總體的需給の激増や據つて生ずる好氣配の煙幕を排して市場の實態を眺めれば「冷靜なる沸騰」は今日自然の成行である」と云ふ見方をしてゐる向もある。

要するに在庫は尠く、需要があり、値段は益々昂騰したが狂氣染みた處はなく比較的堅實に尙ほ先行好調を期待してゐると云ふのが今日の市況である。

8 月 中 の 日 誌

1日 市場の品掠緩和の爲め日鐵及四社の統制の下に等邊大型山形鋼 4,000 噸を外注する事に決定す。

○本日本日電の外注値段次の如し(爲替 $\frac{1}{2}$ - $\frac{1}{2}$ )

Bar Base 5-6-6 Angle Base 5-6-6 Plate Base 6-14-6

2日 東京市設市場の白米小賣値段は、昭和4年以來の高値となる。

○ドイツ大統領ヒンデンブルグ元帥逝去さる。

○ヒットラー首相大統領の職權を兼攝す。

3日 三軌會の一般賣重軌條(繼目板込)値段は140圓。外注IRMA 値段は175圓。

4日 丸鋼ベースの共販建値は90圓、東京丸鋼商會の賣値は97圓市中相場は100圓内外の高値唱。市場奔騰の遠因は採算上メーカーが、他鋼材の製作に力を注ぎたと對滿輸出有利なるに依つて市中品掠となりたる爲めと云はれる。

5日 7月中の三港輸入は2萬700噸にして前月より100噸の減少なれ共條鋼、鋼板0.7mm 超に漸増の形勢窺はる。

6日 本日本日電の外注値段は爲替。CIF 共前電と變らず。  
○首相官邸に開催せられたる貴院幹部招待會に於て首相は軍縮の比率主義排撃は帝國不動の方針なる旨言明す。  
○日鐵販賣部事務所は木挽町より郵船ビルに移轉す。

7日 鋼材市況は丸、角、平一齊に好調を呈し連れて他鋼材も騰勢不熄、無物高の好況依然。

8日 米大統領、銀の國有を公布す。買上値段に1オンス50仙01。

9日 日鐵の10、11月積。先物協議會は据置。數量は前月より500噸増の8,000噸。角、平定期は据置。數量は前月より700噸減の2,300噸。9耗、中丸は据置。數量は9耗3,500噸、中丸は1,000噸。

10日 中型山形鋼共販10、11月積の建値2圓上げ賣出數量は前月通り。

○日鐵の小型山形鋼10、11月積建値2圓上げ賣出數量は申込狀勢を見たる上決定。

○中板共販10、11月積の建値は据置。賣出數量は3,000噸見當。尙ほ中板市場緩和の爲め四社に於て2,000噸の外注をなしたる旨發表さる。

13日 北鐵交渉の決裂を保留して滿洲代表引揚げたる爲め同交渉再び無期定停頓となる。

14日 9、10月積鉄力板先物50錢上げ。  
○9、10、11月積石油罐用鉄力板の第1回賣出協議會開催さる、値段は天地板24圓、胴板17圓50錢と決定。  
○本日本日電の外注値段次の通り。(爲替 $\frac{1}{2}$ - $\frac{3}{8}$ )

Bar Base 5-6-6 Angle Base 5-6-6 Plate Base 6-14-6

15日 7月中の滿支向輸出は前年同期に比し5割方激増せりと。

16日 9、10月積線材共販内地向3圓上げ、輸出向据置。數量は内地、輸出計9,000噸。

17日 9、10月積線材の割當左の通り。

		内地向		輸 出	
		日鐵	神鋼	日鐵	神鋼
三	井	476 噸	365 噸	192 噸	185 噸
三	菱	204	455	128	235
岩	井	595	1,330	220	680
安	宅	357	1,030	164	525
日	商	68	1,120	96	575
計		1,700	4,300	800	2,200

18日 鋼材市場は先行に關して種々の見解あり且つ値段が高いので利喰する向もあるが現實相場は漸騰して今旬も亦強調を傳へられてゐる。

19日 ヒットラー氏は一般人民大多數の賛成投票を獲得して獨逸大統領となる。

20日 常盤會解散す。

21日 本日本日電の外注値段次の通り。(爲替 $\frac{1}{2}$ - $\frac{1}{2}$ )

Bar Base 5-6-6 Angle Base 5-6-6 Plate Base 6-14-6

22日 10、11月積厚板共販賣出値段は据置、數量は前月通りと

決定。

○10月積珪素鋼板の申込は 2,150 吨引受は 1,600 吨。

23日 八幡製鐵所第1製鉄工場第3熔鑄爐日産 350 吨の操業開始。

○鋼材聯合會は 8月末期間満了の處 9月より來年 2月末まで存続決定。

○鋼材聯合會の 9、10月積丸鋼ベースは 3圓上げ。

25日 米國に於ける本週の鐵鋼作業率を始め産業界の活動は振はず寧ろ下り坂なりしが市場方面は好轉し却賣物價指數も總じて高く景氣回復を豫想して人氣著しく好轉す。

27日 鋼材市況は來勤後なると需要期に入りたるを以て復々好轉し大なり小なり上向かざるもの無し。

29日 銑鐵共販組合 10、11、12月渡鑄物用銑鐵建値は 44圓60錢の据置。

8月中爲替相場

區分 月日	對米		對英		
	對米	對英	對米	對英	
8. 1	29- $\frac{5}{8}$	$\frac{1}{2}$ - $\frac{1}{16}$	8. 17	29- $\frac{3}{4}$	$\frac{1}{2}$ - $\frac{1}{16}$
2	29- $\frac{7}{8}$	"	18	"	"
3	"	"	20	"	"
4	29- $\frac{5}{8}$	"	21	"	"
6	"	"	22	"	"
7	"	"	23	"	"
8	"	"	24	"	"
9	"	"	25	29- $\frac{5}{8}$	"
10	29- $\frac{3}{4}$	"	27	"	"
11	29- $\frac{7}{8}$	"	28	"	"
13	"	"	29	"	"
14	"	"	30	29- $\frac{1}{2}$	"
15	"	"	31	29- $\frac{3}{4}$	"
16	29- $\frac{3}{4}$	"			

東京大阪市中相場 (東京上 8月7日 中 8月18日 下 8月28日 / 大阪上 8月6日 中 8月15日 下 8月25日)

寸法	8月上旬		8月中旬		8月下旬	
	東京	大阪	東京	大阪	東京	大阪
<b>丸 鋼</b>						
6mm	11:00	11:20	11:00	11:00	11:50	11:50
9	10:10	9:80	10:30	10:00	10:50	10:80
12	"	9:90	"	"	"	"
19	10:10	9:70	10:10	9:80	10:30	10:50
25	9:80	"	10:00	"	10:20	"
50	12:00	12:20	12:00	12:50	12:10	12:50
65	12:80	12:50	12:80	"	13:50	"
<b>角 鋼</b>						
9mm	10:00	10:30	10:40	10:50	10:50	10:70
12	"	10:10	10:20	10:40	"	"
16	9:80	10:00	9:80	10:30	10:20	10:00
19	10:50	10:50	10:50	10:70	10:80	10:50
38	11:30	11:70	11:30	11:80	11:50	11:50
<b>平 鋼</b>						
6x38	10:60	10:00	10:50	10:40	10:50	10:70
6x50	10:20	10:20	10:40	10:80	"	11:20
6x75	10:70	10:60	11:00	10:99	11:20	11:30
9x100	11:30	10:80	11:30	"	11:40	"
12x100	"	"	"	"	"	"
<b>等邊山形鋼</b>						
6x50x50	11:40	12:00	11:50	12:60	12:50	12:50
6x65x65	12:50	12:50	12:50	13:00	13:50	13:80
9x75x75	12:40	12:00	12:40	12:70	12:80	12:50
9x130x130	15:00	15:00	13:70	14:50	13:90	14:00
12x130x130	14:00	14:50	14:50	15:00	15:00	14:50
15x150x150	13:00	13:50	13:00	13:30	13:00	13:00
<b>不等邊山形鋼</b>						
9x50x75	11:00	12:50	11:00	12:50	11:00	11:50
10x75x100	11:90	13:00	12:00	12:60	13:00	12:50
10x90x125	"	12:00	"	12:50	12:90	12:00
9x100x150	13:00	13:50	13:00	13:30	13:00	13:30
12x100x150	"	"	"	"	"	"

寸法	8月上旬		8月中旬		8月下旬	
	東京	大阪	東京	大阪	東京	大阪
<b>溝形鋼</b>						
5x50x100	14:00	14:00	15:00	15:50	16:00	14:70
6x50x125	15:60	16:00	15:60	16:50	"	16:00
3 $\frac{3}{8}$ "x3"x6"	12:00	13:00	12:00	13:00	12:70	13:50
3 $\frac{3}{8}$ "x3"x8"	11:80	12:00	12:20	14:00	"	13:30
9x90x250	15:80	16:00	16:00	18:00	16:30	17:50
10x90x300	14:20	14:50	14:20	14:50	14:50	14:00
<b>工形鋼</b>						
5.5x75x150	12:70	13:00	13:50	14:50	16:00	15:00
7x100x200	14:50	14:00	14:50	15:50	16:50	16:50
8x150x300	14:00	16:50	15:00	17:00	"	17:50
12x150x350	14:50	16:00	"	15:50	16:00	19:00
10x125x250	14:00	14:00	14:00	15:00	16:50	14:00
<b>鋼板</b>						
1.6x3'x6'	17:20	16:50	17:20	16:90	17:50	16:80
1.6x4'x8	16:20	15:80	16:20	16:00	16:40	15:80
3.2x4'x8	16:80	16:40	16:60	16:70	18:00	18:50
3.2x5'x10	16:00	16:00	16:00	16:30	16:50	16:50
6.0x4'x8	"	15:80	15:80	15:60	15:80	15:50
6.0x5'x10	16:10	16:00	16:00	"	16:00	"
9.0x4'x8	13:00	12:80	13:40	13:30	13:50	13:50
9.0x5'x10	"	"	"	"	"	"
<b>薄鋼板 (13枚)</b>						
英川	79	87	76	81	78	81.5
八幡	79	87	76	81	"	"
<b>鐵力板</b>						
米 {170lbs	27:20	27:00	27:20	27:20	27:50	27:60
{100	14:50	14:50	14:50	14:50	14:70	14:90
英 {170	26:90	26:70	26:90	26:90	27:20	26:30
{100	14:40	14:40	14:40	14:40	14:60	14:80
八幡 {170	27:20	27:00	27:20	27:20	27:50	27:60
{100	14:60	14:50	14:60	14:50	14:80	14:90
<b>線材</b>						
No. 5#	112:00	114:00	112:00	112:00	110:00	112:00

備考 單位 100 kg につき (置場値段)、但し薄板は 1 枚當り。線材は 1 吨當り。鐵力板は 1 箱當り。

昭和9年4月中三港鋼材輸入數量表 (單位噸)

品	區	分	神 戶	大 阪	横 濱	4 月 計	前 月 計	本年累計	前 年 同期累計
丸角平等不溝工鋼	等	鋼	298	1	244	543	1,444	3,447	4,006
		鋼	15	11	39	65	197	417	594
		鋼	128	118	186	432	656	1,523	2,176
		山	26	318	—	344	167	1,485	2,612
		山	111	—	—	111	54	1,001	138
		形	—	36	4	40	750	2,536	748
		形	—	—	—	—	316	679	67
		板 (0.7mm超)	465	863	276	1,604	2,832	10,992	21,051
		板 (0.7mm以下)	—	—	—	—	2	2	891
		力	379	2,732	2,346	5,447	6,752	24,096	22,872
		軌	—	224	—	224	—	908	317
線	53	1,191	464	1,708	4,955	10,533	8,489		
シ	78	—	—	78	300	733	865		
鋼	6	237	125	368	1,239	3,621	1,322		
フ	960	1,250	1,651	3,861	3,215	15,922	17,942		
リ	331	18	183	535	570	1,601	1,441		
其	626	75	395	1,096	1,102	4,635	4,438		
計		3,479	7,064	5,913	16,456	24,551	84,131	89,972	
硫石ナク	炭	安	6,231	—	4,877	11,108	15,128	47,783	15,317
		酸	—	—	—	—	17	57	76
		ソ	—	50	168	218	452	1,250	1,659
		ル	20	5	45	70	173	483	1,477

昭和9年6月中三港鋼材輸入數量表 (單位噸)

品	區	分	神 戶	大 阪	横 濱	6 月 計	前 月 計	本年累計	前 年 同期累計
丸角平等不溝工鋼	等	鋼	92	8	368	468	829	4,744	13,444
		鋼	54	—	34	88	215	720	2,394
		鋼	26	3	270	299	546	2,368	8,226
		山	—	84	1	85	179	1,749	10,995
		山	—	—	10	10	2	1,013	1,780
		形	—	32	9	41	404	2,981	1,012
		形	—	73	—	73	—	752	94
		板 (0.7mm超)	160	1,370	564	2,094	1,662	14,748	36,451
		板 (0.7mm以下)	—	—	—	—	—	2	7,585
		力	679	1,732	2,251	4,662	5,164	33,922	35,804
		軌	—	15	—	15	187	1,110	629
線	298	550	940	1,788	941	13,262	19,263		
シ	357	—	—	357	144	1,234	1,345		
鋼	6	507	914	1,427	640	5,688	3,304		
フ	764	2,439	4,478	7,681	4,178	27,781	38,012		
リ	157	237	410	804	809	3,214	2,383		
其	386	145	407	938	911	6,484	7,211		
計		2,979	7,195	10,656	20,830	16,811	121,772	189,931	
硫石ナク	炭	安	22,834	—	—	—	29,430	—	18,701
		酸	—	—	—	—	9	99	—
		ソ	50	164	—	—	622	—	2,539
		ル	10	40	—	—	93	—	1,744

昭和9年7月中三港鋼材輸入數量表 (單位噸)

品	區	分	神 戶	大 阪	横 濱	7 月 計	前 月 計	本年累計	前 年 同期累計
丸角平等不溝工鋼	等	鋼	140	99	303	542	468	5,286	22,344
		鋼	34	146	19	199	88	919	3,203
		鋼	117	271	223	611	299	2,979	10,496
		山	11	105	20	136	85	1,885	17,506
		山	—	—	—	—	10	1,013	3,045
		形	—	15	167	182	41	3,163	1,697
		形	—	7	51	58	73	810	209
		板 (0.7mm超)	197	813	2,705	3,715	2,094	18,463	52,115
		板 (0.7mm以下)	—	—	—	—	—	2	7,592
		力	287	1,366	1,774	3,427	4,662	37,349	39,454
		軌	—	45	—	45	15	1,155	1,167
線	96	85	966	1,147	1,788	14,409	19,687		
シ	112	—	—	112	357	1,346	1,626		
鋼	17	431	916	1,364	1,427	7,052	3,898		
フ	801	856	5,613	7,270	7,681	35,051	50,993		
リ	58	120	326	504	804	3,718	2,711		
其	231	605	585	1,421	938	7,905	8,989		
計		2,101	4,964	13,668	20,733	20,830	142,505	246,732	
硫石ナク	炭	安	9,393	—	4,521	13,914	34,716	125,843	33,810
		酸	—	—	—	—	—	66	99
		ソ	—	18	10	28	295	2,195	2,627
		ル	—	10	20	30	105	711	1,317

## 昭和9年7月中八幡製品品種別揚地別發送高

(單位噸)

分類		内地												輸出向			合計	
		阪神		京濱		名古屋		其他		八幡製鐵		計			滿洲	支那		計
		官廳	民間	官廳	民間	官廳	民間	官廳	民間	官廳	民間	官廳	民間	計				
厚鋼板	6mm以上	98	5,070	961	2,164	5	507	3,338	1,160	—	415	4,402	9,316	13,718	372	—	372	14,090
中鋼板	1mm-6mm未滿	7	1,479	108	1,150	—	315	1,077	188	—	122	1,192	3,254	4,446	32	—	32	4,478
薄鋼板	1mm未滿	—	690	2	586	—	—	4	1	—	—	6	1,277	1,283	—	—	—	1,283
特殊鋼板	— 括	—	54	5	149	2	—	43	—	—	14	50	217	217	—	—	—	267
珪素鋼板	—	—	322	—	1,372	—	25	—	154	—	—	—	1,873	1,873	—	—	—	1,873
鍍力板	—	—	1,706	—	3,277	—	92	103	12	—	163	163	5,250	5,353	95	—	95	5,448
大形丸鋼	100mm超	—	220	1	63	—	14	14	8	—	49	15	354	369	—	—	—	369
中形丸鋼	36mm超	45	966	130	493	76	122	104	42	—	122	355	1,745	2,100	2	—	2	2,102
小形丸鋼	36mm以下	—	1,159	95	917	—	230	281	72	—	263	376	2,641	3,017	1,007	201	1,208	4,225
大形角鋼	100mm超	—	55	—	—	—	2	8	—	—	—	8	57	65	—	—	—	65
中形角鋼	36mm超	—	335	—	310	—	78	21	2	—	58	21	783	804	—	—	—	804
小形角鋼	36mm以下	—	261	2	167	—	60	54	3	—	2	56	493	549	82	—	82	631
中形平鋼	幅55mm超	—	3	30	30	—	—	37	56	—	4	67	93	160	—	—	—	160
小形平鋼	幅55mm以下	—	226	—	266	—	60	14	1	—	8	14	561	575	133	—	133	708
特殊形棒鋼	半丸、六角、八角	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	3	3	—	—	—	3
スケルブ	— 括	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
大形山形鋼	等邊不等邊片100mm超	92	1,865	269	1,297	—	9	139	94	—	353	500	3,618	4,118	143	—	143	4,261
中形山形鋼	50mm超	—	714	79	114	—	129	512	144	—	114	591	1,215	1,806	9	—	9	1,815
小形山形鋼	50以下	3	411	17	322	1	53	36	13	—	317	57	1,116	1,173	26	19	45	1,218
溝形鋼	— 括	5	1,799	36	1,762	—	146	314	90	—	104	355	3,901	4,256	21	—	21	4,277
工形鋼	—	258	1,406	2	1,300	—	87	131	71	—	48	391	2,912	3,303	427	—	427	3,730
特殊形鋼	球山 Z.T. 括	—	271	1	68	—	1	239	323	—	—	240	663	903	18	—	18	921
鋼矢板	— 括	—	211	—	213	—	70	—	57	—	137	—	688	688	—	—	—	688
重軌條	22kg以上	2,104	403	4,181	867	—	489	2,395	2,783	—	103	8,680	4,645	13,325	9,410	—	9,410	22,735
輕軌條	22kg未滿	—	2,291	—	1,590	—	31	8	575	—	338	8	4,825	4,833	—	—	—	4,833
軌條附屬品及線材類	— 括	211	33	430	65	—	6	82	176	—	9	723	289	1,012	556	—	556	1,568
販賣用鋼片	—	—	767	—	1,437	—	107	22	—	—	3,501	22	5,812	5,834	—	—	—	5,834
販賣用鋼塊	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	209	—	209	209	—	—	—	209
販賣用シート	—	—	1,604	—	—	—	—	—	3,338	—	—	—	4,942	4,942	—	—	—	4,942
外輪	—	36	—	12	—	1	—	259	—	—	—	308	—	308	—	—	—	308
車軸及成品	—	—	600	—	—	5	—	13	—	—	—	18	600	618	6	—	6	624
短尺	—	—	711	—	471	—	201	—	—	—	205	34	205	1,417	—	—	—	1,622
特殊鋼條	鋼一括	—	—	—	124	—	—	—	—	—	—	—	124	124	—	—	—	124
鋼材計	—	2,859	28,011	6,435	21,657	90	2,834	9,248	9,365	205	8,594	18,837	70,461	89,298	12,634	220	12,855	102,153
銑鐵	—	—	3,110	—	1,102	—	—	—	2,998	—	—	—	7,210	7,210	—	—	—	7,210
販賣用層鋼	—	—	11	—	—	—	—	—	50	—	3,814	—	3,375	3,375	—	—	—	3,375

昭和9年8月中發表各種鋼材先物建値表

所屬別	區分 種類	外注值段			建値 月日	積 月				備 考	
		沖着	爲替	河岸着		9月積	10月積	10,11月積			
日本製鐵	丸鋼 { 9mm 50mm-100mm }	6-2-6 5-6-6	1/2-3/16	129.11 115.79	8.9				90 108	据置	
關東鋼材	丸鋼	5-6-6		115.98		93				3圓上げ	
日本製鐵	角鋼 { 八幡分 山形 溝形鋼 { 吋寸 時寸 } 野鋼鋼法	5-6-0	1/2-3/16	115.37	8.9				107	据置	
		5-6-6	"	115.79	"				107	"	
		5-11-6	"	119.95	"				107	"	
		5-1-0	"	111.25	"				102	"	
		5-11-0	"	119.53	"				114	"	
		5-2-0	"	112.04	"				103	"	
	小型山形	{ 3x20mm 3x25mm-5x30mm 5x40mm-6x45mm }	6-11-0	1/2-3/16	136.31	8.10				112	2圓上げ
		6-1-3	"	128.19	"				104	"	
		5-16-3	"	124.03	"				104	"	
		5-16-3	"	124.03	"				99	"	
		5-11-6	"	120.06	"					"	
中型山形共販	中型山形 { 等不 邊邊 }	5-6-6	1/2-3/16	115.77	8.10				102 103	2圓上げ	
厚板共販	厚板 { 耳定 付尺 }	6-12-6	1/2-7/16	137.18	8.22				110 118	据置	
中板共販	中板 { 1.6mm 2.3" 3.2" 4.5" }	6-17-6 6-16-1 6-13-6 6-12-0	1/2-7/16	149.84 147.35 138.02 136.77	8.10				142 137 132 124	据置	
常盤會 (8月20日解散) (の爲値段なし)	黑薄板 { 13枚物 內地向 { 6呎 7呎 8呎 } 輸出向 { 6呎 7呎 8呎 } }										
	黑厚板 { 12枚物 11" 10" 9" 8" 7" 6" 5" 4" 3" }										
線材共販	線材 { 內地 輸向 }	5-10-0 5-10-0	1/2-3/16	115.32 93.95	7.17	106 93				2圓上げ 据置	
日本製鐵	鍍力板 { 170lbs 200 }	\$ 8.89 9.25 (200 lbs)	30-0	31.10 32.59	8.14	28.20 29.95				50錢上げ	
	珪素鋼板 (函入)	B-級	21-2-6	1/2-7/16	363.27	8.21		305			据置
		C-級				"		325			"
		D-級				"		345			"
	T-級	27-11-6	"	471.81	"		420			"	
	美裝板	{ #18以下 { 鷺印 鷺印 } 1.6mm以上 { 鳩印 鳩印 } }				7.20	發表せず				
	縞鋼板		7-2-9	1/2-3/16	148.30	8.18			4.0mm 140 6.0mm 135		据置
スコップ用鋼板										發表せず	
重軌條 (繼目板共)	輕軌條 { 10哩未滿 10哩以上 }				8.3					次回三軌會迄140圓(10圓)	
					8.17	115 113				据置	
鋼矢板										次回會議迄 155圓	
普通特殊鋼										發表せず	